

外科学第一

1 構 成 員

	平成23年3月31日現在
教授	1人
准教授	0人
講師(うち病院籍)	2人 (2人)
助教(うち病院籍)	7人 (4人)
助手(うち病院籍)	0人 (0人)
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	1人
医員	3人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	2人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	0人
その他(技術補佐員等)	2人
合計	18人

2 教員の異動状況

椎谷 紀彦(教授)(H21.2.1～現職)
山下 克司(講師)(H15.1.1～現職)
和田 英俊(講師)(H21.4.1～現職)
船井 和仁(特任講師)(H21.4.1～現職)
寺田 仁(助教)(H13.4.1～H19.3.31 助手；H19.4.1～現職)
鷺山 直己(助教)(H13.6.1～H19.3.31 助手；H19.4.1～現職)
小倉 廣之(助教)(H18.1.1～H19.3.31 助手；H19.4.1～現職)
佐藤 正範(助教)(H21.4.1～現職)
宮木 祐一郎(助教)(H21.4.1～現職)
大倉 一宏(診療助教)(H20.9.1～現職)
朽久保 順平(救急部診療助教)(H21.4.1～現職)

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成22年度
(1)原著論文数(うち邦文のもの)	8編 (2編)

そのインパクトファクターの合計	13.40
(2)論文形式のプロシーディングズ数	1編
(3)総説数(うち邦文のもの)	6編 (6編)
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4)著書数(うち邦文のもの)	0編 (0編)
(5)症例報告数(うち邦文のもの)	5編 (1編)
そのインパクトファクターの合計	4.71

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Washiyama N, Shiiya N, Yamashita K, Terada H, Ohkura K, Takahashi K : Etiology of renal failure influences the outcome of heart valve replacement in chronic dialysis patients. J Artif Organs, 14(1), 39-42, 2011 [1.488]
2. Funai K, Takamochi K, Itaya T, Mochizuki T, Nakamura T, Toyoda F, Yong-II K, Sasaki K, Momiki S, Takahashi T, Neyatani H, Suzuki K : Feasibility study of adjuvant chemotherapy with gemcitabine and split-dose cisplatin for completely resected non-small-cell lung cancer. Lung Cancer, 68(1), 78-83, 2010 [3.356]
3. Funai K, Suzuki K, Shimizu K, Shiiya N. Ablation of weak emphysematous visceral pleura by an ultrasonically activated device for spontaneous pneumothorax. Interact Cardiovasc Thorac Surg, 12(6), 908-11, 2011
4. 船井和仁, 望月孝裕, 榎木茂 : Cisplatin, vinorelbine 併用療法による術後補助化学療法の日本人における用量漸増試験. 肺癌, 50(2), 136-140, 2010
5. Ide Y, Ito Y, Takahashi S, Tokudome N, Kobayashi K, Sugihara T, Hattori M, Yokoyama M, Uchiyama A, Inoue K, Sakurai N, Hatake K : Hepatitis B virus reactivation in adjuvant chemotherapy for breast cancer. Breast Cancer, 2010 Jul 24. [Epub ahead of print] [1.888]

インパクトファクターの小計 [6.732]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Shinmura K, Igarashi H, Goto M, Tao H, Yamada H, Matsuura S, Tajima M, Matsuda T, Yamane A, Funai K, Tanahashi M, Niwa H, Ogawa H, Sugimura H : Aberrant Expression and Mutation-Inducing Activity of AID in Human Lung Cancer. Ann Surg Oncol, Epub 2011 Feb 3 [4.182]

インパクトファクターの小計 [4.182]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Osako T, Horii R, Matsuura M, Domoto K, Ide Y, Miyagi Y, Takahashi S, Ito Y, Iwase T, Akiyama F : High-grade breast cancers include both highly sensitive and highly resistant subsets to cytotoxic chemotherapy. J Cancer Res Clin Oncol, 136(9), 1431-8, 2010 [2.485]
2. 蒔田益次郎, 稲尾瞳子, 桑山明子, 井手佳美, 伊藤良則, 高橋俊二, 岩瀬拓士 : 閉経後乳

癌に対するアロマターゼ阻害剤による内分泌療法の完遂率と関節痛. 乳癌の臨床, 25(2), 149-155, 2010

インパクトファクターの小計 [2.485]

(2) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 椎谷紀彦: 脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立. 厚生労働省科学研究費補助金 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 平成 21 年度 総括・分担研究報告書, 22-23, 2010

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 椎谷紀彦: 大動脈外科と脊髄保護－コンセプトの変化と麻酔科の役割－. 日本臨床麻酔学会雑誌, 30 (4), 497 - 505, 2010
2. 椎谷紀彦: 大血管手術の術後ケアと合併症対策. HEART nursing, 23(8), 37-43, 2010
3. 椎谷紀彦: 大動脈基部再手術. CIRCULATION Up-To-Date, 5(4), 30-32, 2010
4. 椎谷紀彦: Open HEART と Academism. 心臓, 42(9), 1123, 2010
5. 鷺山直己, 椎谷紀彦: 診療科別カラー解剖イラスト集 心臓血管外科. OPE NURSING, 25(8), 14-15, 2010
6. 小倉廣之: 症例検討会「画像所見と病理組織所見で乖離がみられた乳腺病変」. Cancer Board 乳癌, 3 (2), 2010

インパクトファクターの小計 [0.00]

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Ohkura K, Yamashita K, Terada H, Washiyama N, Akuzawa S: Congenital Systemic and Coronary-to-Pulmonary artery Fistulas. Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery, 16(3), 203-6, 2010
2. Washiyama N, Yamashita K, Terada H, Ohkura K, Akuzawa S: Surgical treatment of fibroelastoma in the aortic valve. A case report. Ann Thorac Cardiovasc Surg, 16(4), 297-300, 2010
3. Kubota S, Wakasa S, Ooka T, Tachibana T, Shiiya N, Matsui Y: A case of Carpentier-Edwards pericardial bioprosthesis in mitral position explanted 22 years after implantation. J Artif Organs, 13(1), 48-50, 2010 [1.488]

インパクトファクターの小計 [1.488]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

- Ohtani H, Katoh H, Saitoh T, Shiraki K, Saotome M, Urushida T, Satoh H, Washiyama N, Terada H, Yamashita K, Hayashi H : Left ventricular pseudo-false aneurysm detected With ECG-gated multidetector computed tomography and cardiac magnetic resonance imaging. Circulation Journal, 74(9), 1986-1988, 2010 [3.225]
- 大和谷崇、峯田周幸、磯垣 淳、和田英俊：腐食性食道炎に対して喉頭温存上部消化管再建を施行した1例。JOHNS 26(6) 2010

インパクトファクターの小計 [3.225]

4 特許等の出願状況

	平成22年度
特許取得数(出願中含む)	1件

- 乳房計測装置：近赤外線を使用した拡散光トモグラフィー（光CT：Computed Tomography）に超音波装置を組み合わせた乳房計測装置を開発，（特願 2010 - 237726）

5 医学研究費取得状況

	平成22年度
(1) 文部科学省科学研究費	0件 (0万円)
(2) 厚生科学研究費	1件 (50万円)
(3) 他政府機関による研究助成	1件 (100万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	5件 (50万円)
(6) 奨学寄附金その他(民間より)	28件 (1530万円)

(2) 厚生科学研究費

脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立。厚生労働省科学研究費補助金 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業

(3) 他政府機関による研究助成

科学技術振興機構プロトタイプ実証・実用化プログラム

(5) 受託研究または共同研究

受託研究 大鵬薬品工業、武田薬品工業 市販後調査

共同研究 静岡大学工学部 マイクロ波マンモグラフィの研究

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	14件
(2) シンポジウム発表数	0件	6件

(3)学会座長回数	1件	13件
(4)学会開催回数	0件	0件
(5)学会役員等回数	0件	24件
(6)一般演題発表数	3件	

(1) 国際学会等開催・参加

4) 国際学会・会議等での座長

1. 椎谷紀彦：11th Asian Society for Vascular Surgery, 京都, 2010/7/2

5) 一般発表

ポスター発表

1. 椎谷紀彦：Motor Evoked Potentials Versus Evoked Spinal Cord Potentials: A Prospective Intent-To-Monitor Comparison. AATS Aortic Symposium 2010, New York, 2010/4/29
2. 大倉一宏, 椎谷紀彦, 山下克司, 寺田仁, 鷺山直己, 半澤善勝：Renal protection strategy and postoperative results of pararenal abdominal aortic aneurysms. 11th Annual Congress of Asian Society for Vascular Surgery, 京都, 2010/7/2
3. 小倉廣之：Optical parameters of breast cancer before and after chemotherapy, San Antonio Breast Cancer Symposium 2010, 2010/12/8-12, San Antonio(USA)

(2) 国内学会の開催・参加

2) 学会における特別講演・招待講演

椎谷紀彦

1. 腹部大動脈瘤の標準手術, 卒後教育セミナー, 第38回日本血管外科学会総会, さいたま, 2010/5/20
2. 人工血管の構造と生体への影響, ランチョンセミナー, 第48回日本人工臓器学会総会, 仙台, 2010/11/19
3. eccentric AR に対する大動脈弁形成を加えた基部置換術, 第17回大動脈瘤シンポジウム, 淡路, 2010/6/5
4. ベントール手術, ハンズオンセミナー, 第41回日本心臓血管外科学会学術総会, 舞浜, 2011/2/25
5. 大動脈弁温存に関する最近の試み, 第5回北東北大動脈解離研究会, 弘前, 2010/7/17
6. 大動脈弁形成・温存手術の現況, 第49回西胆振循環器談話会学術集会, 室蘭, 2010/7/30
7. 大動脈瘤治療の現況, 第13回小笠ハートセミナー, 掛川, 2010/9/16
8. 胸腹部大動脈瘤の手術, 第4回愛知大動脈カンファレンス, 名古屋, 2010/11/12
9. 胸部大動脈外科治療の現況, 第2回心臓血管症例検討会, 千葉, 2010/11/27
10. 胸部大動脈瘤の外科治療, 第23回山口県血管外科研究会, 山口, 2011/2/10
11. 胸部・胸腹部大動脈瘤の手術・ステントグラフト療法の使い分けならびに今後の展開について, 第5回北海道大血管・血管カンファレンス, 札幌, 2011/3/12
船井和仁

12. 導入化学療法後に右肺上葉スリーブ切除、胸壁合併切除を施行した扁平上皮癌の一例，呼吸器外科フォーラム，浜松，2010/6/4
13. 導入化学療法後に胸壁合併切除を施行した単発脳転移を有する肺腺癌の一切除例，第9回西部胸部外科肺がん化学療法講演会，浜松，2010/11/19
和田英俊
14. 腹腔側からみた鼠径部の解剖と mesh 手術の再発症例－ JHS ヘルニア分類から－，第2回静岡ヘルニアセミナー IN 静岡，静岡，2010/6/12

3) シンポジウム発表

1. Shiyya N：Open vs Endovascular Surgery for Aortic Diseases: Open Surgical Repair, International Symposium, 第38回日本血管外科学会総会，さいたま，2010/5/21
2. 寺田仁，椎谷紀彦，山下克司，鷺山直己，大倉一宏：85歳以上の高齢者に対する胸部および胸腹部大動脈手術の意義，パネルディスカッション，第51回日本脈管学会総会，旭川，2010/10/15
3. 和田英俊 佐藤正範，宮木祐一郎，野澤雅之，枋久保順平，小野田貴信，椎谷紀彦：腹腔鏡手術からみた日本ヘルニア学会鼠径ヘルニア分類の検討 第8回日本ヘルニア学会学術集会 共通シンポジウム 日本ヘルニア学会・鼠径ヘルニア分類法の検証 舞浜 2010.04.16
4. 和田英俊 佐藤正範，宮木祐一郎，枋久保順平，井手佳美，小野田貴信，椎谷紀彦：腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術のガイドラインの検証 第23回日本内視鏡外科学会総会 パネルディスカッション 鼠径部ヘルニアに対する腹腔鏡手術のガイドラインの評価 横浜 2010.10.20
5. 和田英俊 佐藤正範，宮木祐一郎，枋久保順平，小野田貴信，椎谷紀彦：Parietex™ 3Dを使用した腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術の検討 第72回日本臨床外科学会総会 ビデオシンポジウム 鼠径ヘルニア・腹壁癒痕ヘルニア－新素材メッシュによる治療－ 横浜 2010.11.22
6. 宮木祐一郎，和田英俊，佐藤正範，枋久保順平，小野田貴信，椎谷紀彦：腹腔内からみた鼠径ヘルニア手術（mesh repair）の術後再発の検討 第72回日本臨床外科学会総会 ワークショップ17 鼠径ヘルニア術式・デバイスによる再発の特徴とその対策 2010.11.23

4) 座長をした学会名

椎谷紀彦 第38回日本血管外科学会総会，さいたま，2010/5/22，パネルディスカッション
 第51回日本脈管学会総会，旭川，2010/10/15，パネルディスカッション
 第63回日本胸部外科学会総会，大阪，2010/10/26
 第41回日本心臓血管外科学会学術総会，舞浜，2011/2/24
 第17回大動脈瘤シンポジウム，淡路，2010/6/5
 第53回関西胸部外科学会学術総会，名古屋，2010/6/24，シンポジウム
 第3回静岡血栓と血管フォーラム，浜松，2010/4/10

山下克司 第 53 回関西胸部外科学会学術総会, 名古屋, 2010/6/25
 船井和仁 第 72 回 日本臨床外科学会総会
 小倉廣之 第 15 回日本乳癌学会学術総会
 和田英俊 第 8 回日本ヘルニア学会学術集会 2010.04.17 舞浜
 第 23 回日本内視鏡外科学会総会 2010.10.20 横浜
 第 72 回日本臨床外科学会総会 2010.11.22 横浜

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

椎谷紀彦：日本血管外科学会 理事
 日本心臓血管外科学会 評議員、学会雑誌編集幹事
 日本胸部外科学会 評議員
 日本外科学会 代議員
 本脈管学会 評議員
 日本人工臓器学会 評議員
 日本大動脈外科研究会 常任世話人
 血管外科アカデミー 世話人
 大動脈瘤シンポジウム 世話人
 関西胸部外科学会 評議員
 東海外科学会 評議員
 東海心臓外科懇話会 幹事
 中部血管外科学会 評議員
 山下克司：関西胸部外科学会 評議員
 日本循環器学会 東海支部評議員
 船井和仁：日本胸部外科学会 評議員
 日本呼吸器外科学会 評議員
 小倉廣之：日本乳癌学会 評議員
 和田英俊：日本内視鏡外科学会 評議員
 日本臨床外科学会 評議員
 日本ヘルニア学会 評議員、評議員選定委員、保険診療委員
 小切開・鏡視外科学会 評議員
 単孔式内視鏡手術研究会 世話人
 Needlescopic Surgery Meeting 世話人

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	1件	0件

(1) 国内の英文雑誌の編集

椎谷紀彦：日本心臓血管外科学会雑誌

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

- 椎谷紀彦：Eur J Cardio-Thorac Surg (Europe) 2回 [IF=2.293]
Circ J (Japan) 4回 [IF=3.225]
J Artif Organs (Japan) 2回 [IF=1.488]
Surg Today (Japan) 3回 [IF=1.057]
Gen Thorac Cardiovasc Surg 6回 [Medline]
Ann Vasc Disease (Japan) 1回

9 共同研究の実施状況

	平成22年度
(1)国際共同研究	0件
(2)国内共同研究	4件
(3)学内共同研究	0件

(2) 国内共同研究

1. 肺野末梢小型非小細胞肺癌に対する肺葉切除と縮小手術（区域切除）の第Ⅲ相試験
2. 間質性肺炎合併肺癌切除患者における術後急性増悪に関連する因子の探索多施設共同後向きコホート研究
3. 未治療進行非小細胞肺癌（扁平上皮癌）に対する Gemcitabine/Nedaplatin の臨床第Ⅱ相試験
4. 扁平上皮癌を除く進行・再発非小細胞肺癌に対する Bevasizumab と Cisplatin、Pemetrexed 併用 化学療法の有効性・安全性の検討 第Ⅰ / Ⅱ相試験

10 産学共同研究

	平成22年度
産学共同研究	1件

1. 近赤外蛍光観察装置を用いた肺区域面の同定の検証（浜松ホトニクスとの共同研究）

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 光を用いた乳がん画像診断の研究

13 この期間中の特筆すべき業績、新技術の開発

1. 乳房計測装置；近赤外線を使用した拡散光トモグラフィーの開発による特許取得
2. 2009年より臍内1カ所からの創による単孔式腹腔鏡手術を導入し、胆嚢摘出術、鼠径ヘルニア手術、虫垂切除術などの良性疾患に対する手術を行ってきたが、2010年から低悪性度の結腸腫瘍に対しても単孔式手術を導入した

15 新聞、雑誌等による報道

1. 肺がんにおける抗がん剤の至適投与量の決定. 2010/6月、7月、静岡新聞、中日新聞に記事掲載

2. 肺がんについて. 医療 HOT ステーション (浜松ケーブルテレビ), 船井 和仁
3. 肺がんの診断と治療. 浜松医大公開講座, 続・「がん」とともに生きる, 浜松, 2010/7/31, 船井 和仁